

川野キャプテンからの要請により、延工OBの戦力分析をしました。

ただし、県体に出場していない小野は今年度の延工OBを見ていませんので、最後に見た（対戦した）のが、昨年11月の県下壮年ですので、分析が古いかも知れませんが悪しからず。それから、あくまで私見ですので正確な分析とは言えないかも知れませんが、参考程度にどうぞ。

<メンバー>

- ・昨年度のメンバー + 谷口君（飯野高校 日向高校）と認識しています。
- ・昨年のメンバーは別紙（夕刊デイリー記事）を参照ください。
- ・スタメンは、宮部君が「作戦会議室」に書き込んでいるとおり（下表）だと思います。



1	美村
2	橋本
3	日野
4	忍賀
5	弓削
6	戸田
7	門前
8	甲斐
9	三浦
10	加行
11	田口
12	白木
13	妹尾
14	山形
15	大山
	谷口

- ・その他には、白木(12)、田口(11)のポジション入れ替え、同ポジションへの甲斐さん(8)の投入。三浦さん(9)の体調が充分であれば、谷口を他のポジションに回してセンターに起用することも考えられる。

<サーブ>

- ・若者のような早いジャンプサーブはない
- ・重くて深いフロッターサーブがほとんど
- ・深めにじっくり構える（ボールを迎えに行くのではなく引きつけるイメージ）こと、あきらめない（エースを取られるようなサーブではない、弾いても味方にフォローしてもらうようなはじき方、やられたと思っても手を出す）ことが肝要

<サーブカット>

- ・美村さんをはじめ、中衛のオーバーカットは秀逸
- ・中途半端なスピードで中衛にサーブを入れると餌食になる（特に11、1、12の3人）
- ・中衛にアンダーで取らせるか、中衛の頭を越してバックに取らせるか、中衛の間に早いサーブを入れるか、中衛でも両サイドに取らせるか

<ブロック>

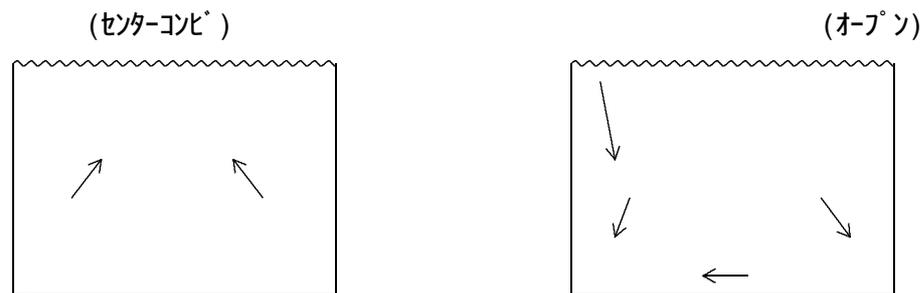
- ・高くてうまい。谷口が入ってさらに向上。穴もない
- ・コンビを織り交ぜながら、攻撃を散らすこと、ブロックカバーの徹底が肝要

<攻撃>

- ・ブロックをはずして思いっきり打ってくるオーソドックスな攻撃。ブロックもレシーブもしっかり準備していないと弾かれてしまう。ブロッカーもレシーブに参加する必要があるが、下がりながらのレシーブでは弾かれてしまう。攻撃的なレシーブが必要。
- ・門前さん...レフトからインナー・クロスへの強打とストレートへの軟攻。レフト（エース）とバックレフトは勝負する気持ちで。バックライトは前に出過ぎない、内に入りすぎないように
- ・田口...時間差でブロックのマークが薄くなれば前に落としてくる。両サイドバックは前気味に
- ・谷口...（見ていないが）高さを生かして前に落としてくる。コンビミスフェイントで落とし

てくることも想定。両サイドバックは前気味に

- ・白木...真下に落としてくるより、奥を付いてくる攻撃が多い。突っ込みすぎないようにする必要あり
- ・山形...クロスへの攻撃がほとんど。前衛ライトとバックライトは勝負する気持ちが必要。ブロックも半枚内側に寄って良い
- ・加行...コンビでは、(1本目の)ボールを取ったアタッカーにトスを上げる傾向がある。(ex.田口 加行 田口)ブロッカーは大胆なマークがあっても良いかも
- ・延工はブロック同様攻撃力も高いため、守備に関しては木村君が「作戦会議室」に書き込んでいるとおり、両サイドバックは中の攻撃に備え、はじめは前目にポジショニング、ブロッカーはしつこくマークし、コートの中真ん中にだけは落とさせないようにし、両サイドバックでレシーブ。サイド(オープン)に上がったなら、バックは下がり、前衛と連携してレシーブする。というような体制が基本と思われる。



<その他>

- ・会場(てるはドーム)は、試合当日、相当暑くなることが予想される(県選手権でも証明済)充分な熱中症対策が必要。また、会場が異様に広いため、コート感覚も早めに目を慣らしておく必要あり。
- ・コートが広いということは、それだけ追いかけるスペースがあるということ。味方が弾いてもあきらめず、ねばり強くボールを追いかける必要あり
- ・連続失点対策は、これも木村君が「作戦会議室」に書き込んでいますが、気持ちの面では、「あわてない」ということと、そういう局面でこそ「自分のプレーに徹する」ということではないでしょうか?全員が全員のプレーに気を回しても(レシーバーがアタッカーのプレーを気にしたり、アタッカーがレシーバーのことを気に掛けても)仕方がないので、アタッカーはアタッカー、レシーバーはレシーバーのプレーに専念しましょう。あとの結果は仲間を信頼して!
- ・味方は信頼しても信用するな!
「このトスならあいつなら決めてくれるだろう」などという過信は捨てましょう!喜ぶのは決まってからにして、ブロックカバーに向かおう!
- ・闘う相手は尊敬しないと勝つ資格はないが、恐れていてはコートに立つ資格すらない
延工は確かに強いですが、我々もまんざらではないはず。相手のことは気にせず、自分たちのプレーを全て出せば勝てるはず!結果は気にせず自信を持ってコートに立ちましょう
- ・誰にもじゃまされない唯一のプレーはサーブですね。サーブ力がやはりキーポイントだと思います。気持ちの整理をして(狙い目、強さをイメージし)心を込めれば結果がついてくるはず。漫然と「ファーストはミスしても良いから思いっきり打ってやれ」とか「とりあえず入れとくか」では良い結果は望めません。誰でも輝く(目立つ)ことのできるプレーです。大いに利用しましょう。